

群馬県立県民健康科学大学大学院
看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）
平成31年度 一般選抜試験問題

小論文試験問題

群馬県立県民健康科学大学大学院

下記の資料は、2017年12月28日の山陽新聞の記事です。この記事をもとに、問1. 問2. に答えなさい。

問1. まず、横棒グラフ「ミス・ニアミスの要因」の内容を読み取り、読み取った結果を正確に解釈するために必要となる情報をこの記事以外の情報も含めて3点あげ、それが必要となる理由も含めてそれぞれ100字以内で述べなさい。

問2. この記事に基づき、看護職個人として何に取り組むべきか、あなた自身の考えを300字以内で述べなさい。

医療現場のミス・ニアミス

看護職82%経験

県医療労働組合連合会は、加盟する病院・診療所の看護職員を対象に行った労働実態調査の結果をまとめた。82.0%がこの3年間にミス・ニアミスをしたことがある。50.7%が「患者への十分な看護の提供ができていない」と答え、人手不足による仕事量の増加などを要因に挙げた。連合会は「患者の安全確保のため、労働環境の改善と人材確保が急務だ」としている。(水輿佑香)

調査は5月に行い、21施設の10〜60代の男女762人が答えた。1年前と比べて仕事量について計56.0%が「大幅に増えた」「若干増えた」とし、78.2%

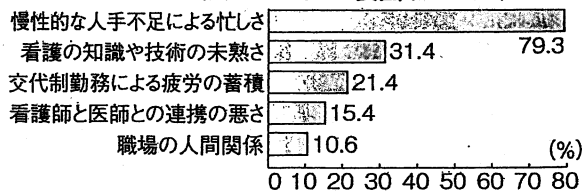


が調査直前の4月に残業をしていた。疲れ具合については「翌日にも残ることが多い」が48.3%、「休日でも回復せず、いつも疲れている」が18.6%。仕事上のストレスは55.9%が

「ある」とし、要因は「仕事の量の問題」が48.0%で最多だった。ミス・ニアミスをした理由として79.3%が「慢性的な人手不足による医療現場の忙しさ」を挙げた。看護の十分な提供ができていない理由(複数回答)は「業務が過密」(80.8%)、「看護以外の業務が多すぎる」(33.9%)などだった。「仕事を辞めたいか」との問いには「いつも思う」「ときどき思う」が計69.5%に上った。連合会の森本忠智書記長は「調査は現場の綱渡り、

県医労連調査 人手不足、過重労働要因

ミス・ニアミスの要因(複数回答)



の状況をあらためて浮き彫りにした。過重労働による疲弊から、売り手市場の他職種に転職する動きも多々見られ、悪循環を断ち切らなければならない」と話す。

山陽新聞・朝刊
2017年12月28日(木)

注 意 事 項 (小論文試験)

- 1 小論文の試験時間は、11時10分～12時40分です。
- 2 試験問題用紙の表紙が願書提出時の選抜区分（「一般選抜」）であることを確認してください。
- 3 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。下書きは用紙の余白をお使いください。
- 4 すべての解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入してください。ただし、※印欄には記入しないでください。
- 6 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験中に質問や用便などの用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 8 試験開始後、30分間は途中退場を認めません。30分経過後、途中退場する場合は、監督員の指示に従い、解答用紙を監督員に提出したのち退場してください。
- 9 問題用紙・解答用紙・下書き用紙を持ち帰ることはできません。
- 10 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。